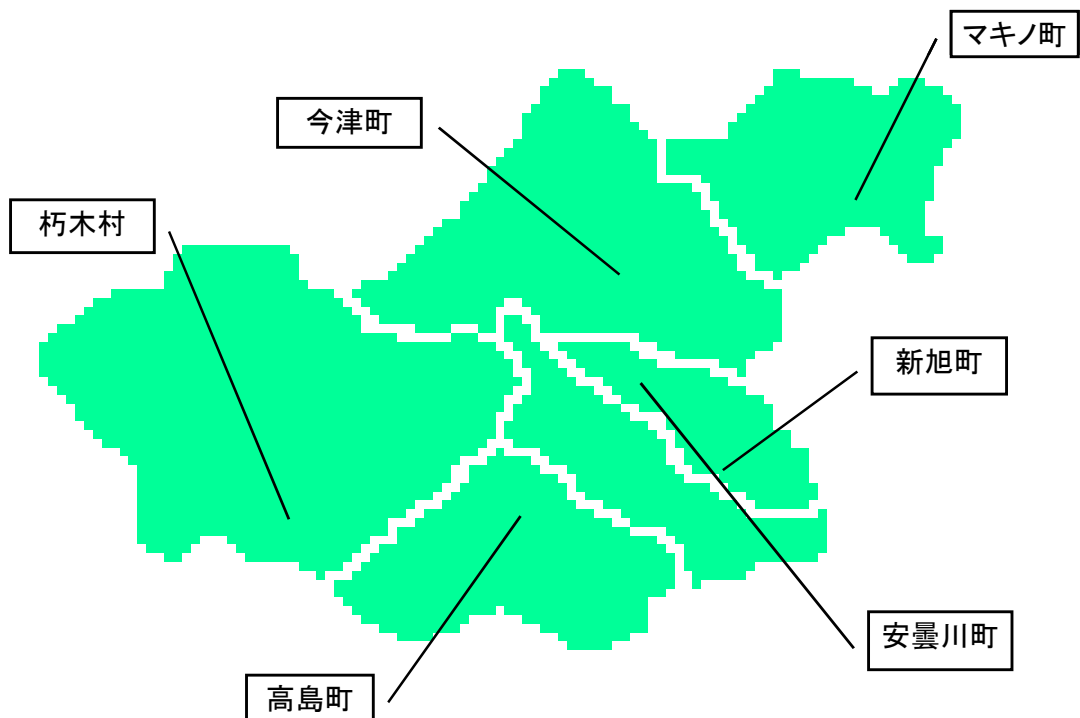


高島市の地位(滋賀県内比較)

	単位	滋賀県	高島市	滋賀県内 順位	調査年	資料出所
面積	km ²	3,766.90	693.00	1	H21	国土地理院
人口	人	1,380,361	53,950	11	H17	国勢調査
人口増加率(対前年)	%	2.8	△ 2.7	27	H17	国勢調査
人口密度	人/km ²	363.8	105.5	28	H17	国勢調査
世帯数	世帯	479,217	17,302	11	H17	国勢調査
出生児数	人	13,151	412	12	H21	人口動態調査
死亡者数	人	11,036	586	7	H21	人口動態調査
婚姻件数	件	7,771	220	12	H21	人口動態調査
離婚件数	件	2,470	98	11	H21	人口動態調査
就業人口(15歳以上)	人	680,478	26,634	10	H17	国勢調査
農業	人	24,133	1,924	3	H17	国勢調査
林業	人	366	59	2	H17	国勢調査
漁業	人	646	67	3	H17	国勢調査
鉱業	人	196	25	4	H17	国勢調査
建設業	人	50,194	2,708	6	H17	国勢調査
製造業	人	183,932	6,164	12	H17	国勢調査
電気・ガス・熱供給・水道業	人	2,917	155	5	H17	国勢調査
情報通信業	人	8,249	183	13	H17	国勢調査
運輸業	人	29,911	846	10	H17	国勢調査
卸売・小売業	人	107,326	3,873	10	H17	国勢調査
金融・保険業	人	14,174	447	11	H17	国勢調査
不動産業	人	5,808	129	13	H17	国勢調査
飲食店、宿泊業	人	29,441	1,069	10	H17	国勢調査
医療、福祉	人	56,555	2,516	9	H17	国勢調査
教育、学習支援業	人	32,162	1,105	10	H17	国勢調査
複合サービス事業	人	7,928	647	3	H17	国勢調査
サービス業	人	93,877	2,678	12	H17	国勢調査
公務	人	23,038	1,926	2	H17	国勢調査
事業所数	事業所	58,197	3,120	6	H18	事業所・企業統計調査
従業者数	人	608,478	49,897	12	H18	事業所・企業統計調査
農家数	戸	43,427	3,333	2	2005	農林業センサス
自給的農家数	戸	11,884	850	4	2005	農林業センサス
販売農家数	戸	31,543	2,483	2	2005	農林業センサス
経営耕地面積	a	4,525,862	414,616	1	2005	農林業センサス
田	a	4,318,842	388,573	1	2005	農林業センサス
畑	a	145,265	18,191	1	2005	農林業センサス
樹園地	a	61,775	7,852	2	2005	農林業センサス
米作付面積	ha	33,200	3,320	2	H20	滋賀農林水産統計年報
米収穫量	t	170,000	16,900	2	H20	滋賀農林水産統計年報
林野面積	ha	202,015	36,966	2	H21	滋賀県森林・林業統計要覧
製造業事業所数	事業所	2,976	193	8	H21	工業統計調査
製造業従業者数	人	148,292	4,347	13	H21	工業統計調査
製造品出荷額等	万円	611,596,810	9,399,288	18	H21	工業統計調査
商業事業所数	事業所	14,008	686	9	H19	商業統計調査
商業従業者数	人	103,138	4,105	10	H19	商業統計調査
年間商品販売額	万円	251,657,496	6,763,344	12	H19	商業統計調査

※いずれも調査実施年の順位である

市域の変遷（沿革）



高島市年表

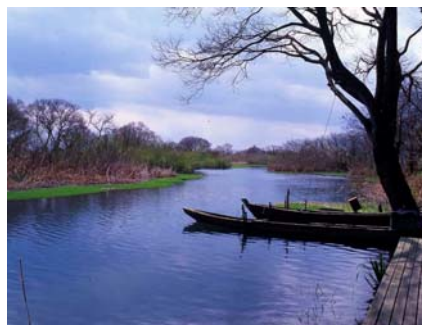
西 暦	和 暦	事 項
	縄文時代早期	石器や土器、落とし穴を使って狩猟が行われる(鴨遺跡・日置前遺跡)
	縄文時代中期	石鍬、石斧などが使用される(弘川B遺跡・大供遺跡)
	縄文時代後・晩	長期間の定住生活を営むムラが成立する(北仰西海道遺跡・弘部野遺跡)
	縄文時代晩期後	高島市域に水稻栽培が伝わる(針江遺跡)
	弥生時代中期	玉造りや石製品作りが行われ墳丘墓が造られる(北仰西海道遺跡・弘川B遺跡) 高地性集落が出現する(熊野本遺跡) 渡来人との交流がうかがえる(南市東遺跡、鴨稻荷山古墳)
	古墳時代中期	小型の前方後円墳や大型円墳を中心とする古墳群が築かれる(田中王塚古墳・妙山古墳群・平ヶ崎王塚古墳群・熊野本古墳群・下平古墳)
	古墳時代後期	小型円墳が造られる(弘川友定遺跡)
5C末		継体天皇が高島郡三尾付近で誕生したという
6C前半		鴨稻荷山古墳が築造される
570	欽明天皇31年	「越の国」について高句麗使節が、「近江の北山」から船で琵琶湖を南下して山背の相楽館へ赴く
672	天武 1年	壬申の乱、大海人皇子軍が高島郡の三尾城(高島町三尾崎付近)を攻め、陥落させる
7C~9		日置前に官衙の機能をもつ建物が建てられる(日置前遺跡)
759	天平宝字3年	高島山から奈良東大寺の用材を伐り出す
764	天平宝字8年	恵美押勝(藤原仲麻呂)の乱、仲麻呂は勝野鬼江(乙女池)での戦いに敗れ、石村村主石楯に捕えられ斬首となる
766	天平神護2年	恵美押勝の乱で功績のあった藁園寺の檀越に物を賜う
833	天長 10年	高島郡が大嘗祭の悠紀国に選定される
9C後期		このころ、鴨に官衙が造られる(鴨遺跡)
985	永観 3年	高島郡が大嘗祭の悠紀国に選定される
1001	長保 3年	音羽が太田庄として白川喜多院寂楽寺の荘園となる
1068	治暦 4年	子田上庄と川上庄を平等院領とする太政官牒がだされる
1138	保延 4年	木津庄が山門領となる
1169	仁安 4年	延暦寺横川中堂再建に高島の木材が運ばれる
1184	元暦 1年	悠紀の殿舎などの用材を採る地に高島郡の2カ所が選定される
1203	建仁 3年	佐々木信綱が朽木庄を賜う
1471	文明 3年	蓮如が湖西を通り、福井県吉崎へ向かう
1505	永正 2年	高島玄蕃允が長法寺山に城を築く
1507	4年	京を脱した將軍足利善澄が朽木谷に逃れる
1528	享祿 1年	將軍足利義晴が朽木谷に滞在する
1538	天文 7年	高島河上七頭の衆と饗庭氏が海津の田屋城を攻める
1543	12年	朽木晴綱と田中頼綱が山木の伐採を巡って争いをおこす
1551	20年	將軍足利義晴が朽木谷に滞在する
1570	元龜 1年	織田信長が朝倉攻めのため九里半街道を通過して越前にむかう、途中田中の城に泊る
1571	2年	磯野貞昌が新庄城主となる織田信長から高島郡を与えられる
1572	3年	織田信澄が高島郡北部の寺院等を焼き討ちする
1573	天正 1年	織田信長が大船で高島郡を攻撃する
1578	6年	織田信澄が大溝城を築き城主となる
1603	慶長 8年	豊臣秀頼が白鬚神社の社殿、末社を修造・整備する
1608	13年	中江藤樹が上小川で誕生する
1619	元和 5年	分部光信が大溝に入封し、大溝藩が成立する
1648	慶安 1年	中江藤樹、上小川に藤樹書院を開設する
1662	寛文 2年	大地震が起こり高島郡一帯に甚大な被害がでる
1807	文化 4年	高島郡が大洪水に襲われ、大溝山王谷・愛宕山間で山崩れがおこる
1829	文政 12年	大溝藩にお預けになっていた近藤重蔵が病没する
1831	天保 2年	野田村の敦賀藩代官所に高島郡敦賀藩領の農民が乱入する 藤本太郎兵衛らが瀬田川浚渫工事を完成させる
1859	安政 6年	高島郡内でコレラが流行する
1864	元治 1年	一橋慶喜、天狗党追討のため敦賀へ向かう途中今津・海津に宿泊する
1868	明治 1年	高島郡の神官が廃仏毀釈を行う
1869	2年	蒸気船一番丸が海津一大津間の運航を開始する
1871	4年	廃藩置県、市内の所屬県は大津・膳所・大溝・豊橋・小浜・福知山・郡山・金沢・伯太・川越県となる 近江国内は大津県と長浜県に2分され、高島郡は長浜県に所屬する
1873	6年	市内各地に小学校が設立される
1876	9年	敦賀郡・三方郡・遠敷郡・大飯郡が滋賀県に編入される
1879	12年	今津に高島郡役所がおかれる
1886	19年	饗庭野が陸軍演習地として買収される 最初の安曇川橋(木造)が建設される
1889	22年	町村制施行により海津・剣熊・西庄・百瀬・川上・今津・三谷・新儀・饗庭・広瀬・安曇・青柳・本庄・高島・大溝・水尾・朽木各村が誕生する

西 暦	和 暦	事 項
1898	明治 31年	高島郡農会が発足する
1902	35年	鴨稻荷山古墳が発見される
1902	35年	大溝村が町制施行
1906	39年	今津村が町制施行
1917	大正 6年	第三高等学校水上部の小口太郎が、今津の宿で琵琶湖周航の歌を披露する
1918	7年	高島郡連合青年団が発足する
1920	9年	滋賀県立今津中学校が開校する
1925	14年	萩の浜水泳場が開かれる
1927	昭和 2年	高島郡誌発行
1931	6年	江若鉄道浜大津－近江今津間全通
1933	8年	安曇川大橋竣工
1936	11年	大溝町立実科高等女学校が滋賀県立藤樹実科高等女学校となる
1940	15年	安曇村が町制施行
1941	16年	第四高等学校ボート部員 11 名が萩の浜沖で遭難する
1942	17年	今津に県地方事務所が設置される
1943	18年	大溝町・高島村・水尾村が合併して高島町となる
1944	19年	市内小学校が大阪市の学童集団疎開を受け入れ
1947	22年	県立今津中学校が高島高等学校に改称
1951	26年	天皇陛下高島市へ巡幸
1954	29年	安曇町・広瀬村・青柳村・本庄村が合併して安曇川町となる。
1955	30年	海津村・剣熊村・西庄村・百瀬村が合併してマキノ町、川上村・今津町・三谷村が合併して今津町、新儀村・饗庭村が合併して新旭町が誕生する
1956	31年	志賀町大字鶴川が高島町に編入する
1959	34年	饗庭野で第 2 回日本ジャンボリーが開催される
1962	37年	箱館山スキー場営業開始
1965	40年	国境スキー場営業開始
1966	41年	県立高島高等学校安曇川分校開校
1967	42年	国鉄湖西線工事が着手される
1969	44年	江若鉄道廃線、最後のお別れ列車が走る、江若バス始発式
1974	49年	国鉄湖西線開通、各駅で開通祝賀行事が行われる
1981	56年	びわこ国体、今津町では剣道競技会・銃剣道競技会、安曇川町でウェイトリフティング、高島町・朽木村では山岳競技が行われる
1987	62年	ガリバー村が開村する
1988	63年	グリーンパーク「思い出の森」オープン 近江聖人中江藤樹記念館開館
1991	平成 3年	第 1 回西びわこペーロン大会が開催される マキノサニービーチオープン
1992	4年	高島郡森林組合が発足
1995	7年	「家族旅行村ピラデスト今津」がオープンする ピラデスト今津で第 19 回全国育樹祭式典が行われる くつき温泉「てんくう」がオープンする
1996	8年	びれっじー号館がオープンする
2001	13年	打下古墳石棺から 5 世紀中ごろの人骨が出土する
2002	14年	高島郡 6 町村合併検討協議会の初会合が開かれる 高島郡 5 町による法定の高島地域合併協議会が発足する
2003	15年	新旭で地雷をなくそう全国こどもサミットが開催される
2004	16年	マキノ町・今津町・朽木村・安曇川町・高島町・新旭町による合併調印式が行われる
2005	17年	1月 マキノ町・今津町・朽木村・安曇川町・高島町・新旭町 5 町 1 村が合併し、高島市が誕生する 5月 市内全域でチャレンジデーが開催される 9月 吹田市とフレンドシップ交流・災害応援協定が締結される 10月 ガリバーホールで第 12 回全国山城サミットが開催される 11月 高島市が景観法に基づく景観行政団体となる
2006	18年	1月 朽木村井で土砂崩れ発生 2月 高島市全域が滋賀県経済振興特別区域「びわ湖・里山観光振興特別区域」の認定をうける 4月 守口市と友好交流・災害応援協定が締結される 6月 日本再発見塾 I N 高島が開催される 10月 北陸本線・湖西線直流化開業
2007	19年	2月 若狭町と災害時の相互協力に関する協定が締結される 3月 高島市総合計画を策定 6月 インターネットテレビ「高島みてねっと！」開設 7月 藤樹書院跡に「中江藤樹墓所」が追加指定される 9月 メール配信サービス「リアルタイム高島」開始 9月 継体天皇即位 1500 年記念事業『高島歴史フォーラム「継体天皇と古代高島」』が開催される

西 暦	和 暦	事 項
2007	19年	10月 藤樹先生生誕400年祭マスコットキャラクター「よえもん君」が完成
		10月 全国トレイルサミットin高島2007が開催される
		11月 高島市地域SNS「高島きてねっと！」開設
		11月 高島市が地方自治法施行60周年記念総務大臣表彰を受賞
2008	20年	3月 中江藤樹生誕400年祭が約7ヵ月間にわたり開催される
		4月 くつき温泉「てんくう」の来場者が300万人突破
		4月 今津町椋川にECC学園高等学校が設立
		7月 携帯電話のサービスが受けられない3つの集落（在原区、椋川区、畑自治会）に衛星携帯電話を貸与し、運用協定を締結
		8月 福井県小浜市と災害時の相互応援に関する協定を締結
		11月 若狭町、小浜市と連携・協力して、「琵琶湖と若狭湾を結ぶシンポジウム」を開催
		12月 市民や市内で働く労働者の生活を守るため「高島市生活・雇用緊急対策会議」を設置
		12月 JR湖西線の防風柵が完成
2009	21年	3月 マキノ高原温泉「さらさ」の来場者が100万人突破
		3月 JR安曇川駅バリアフリー化工事完成
		4月 たかしま市民協働交流センターの開設
		4月 高島市都市農村交流施設「おっきん椋川交流館」竣工
		8月 高島市国際協会設立
		11月 (社)滋賀県トラック協会高島支部と災害時の応援復旧に関する協定を締結
		11月 平成24年春開院に向け、公立高島病院整備事業の関係工事着手
2010	22年	2月 敦賀・長浜・高島三市議会協議会設立
		3月 農林水産省の「ため池百選」に「淡海湖」が選定される。
		3月 高島市医師会・高島市歯科医師会・高島市薬剤師会と災害時の医療救援活動に関する協定を締結
		4月 高島市立小中一貫教育校「高島学園」開校【1】
		5月 重要文化的景観に「高島市針江・霜降の水辺景観」が選定される。【2】
		6月 社団法人滋賀県トラック協会湖西支部と災害時における物資等の輸送に関する協定を締結【3】
		6月 高島市山岳遭難防止対策協議会設立
		8月 第8回ラムサール条約登録湿地関係市町村長会議が開催される。
		10月 吹田市・高島市産業経済交流会が開催される。
		11月 高島市誕生5周年記念・高島市市民劇2010「琵琶湖治水の物語」が上演



【1】高島学園開校式典



【2】針江大川河口付近



【3】高島市・社団法人滋賀県トラック協会湖西支部と災害時における物資等の輸送に関する協定調印式

高島市行政機構図

平成22年度高島市行政機構図(平成22年10月1日現在)

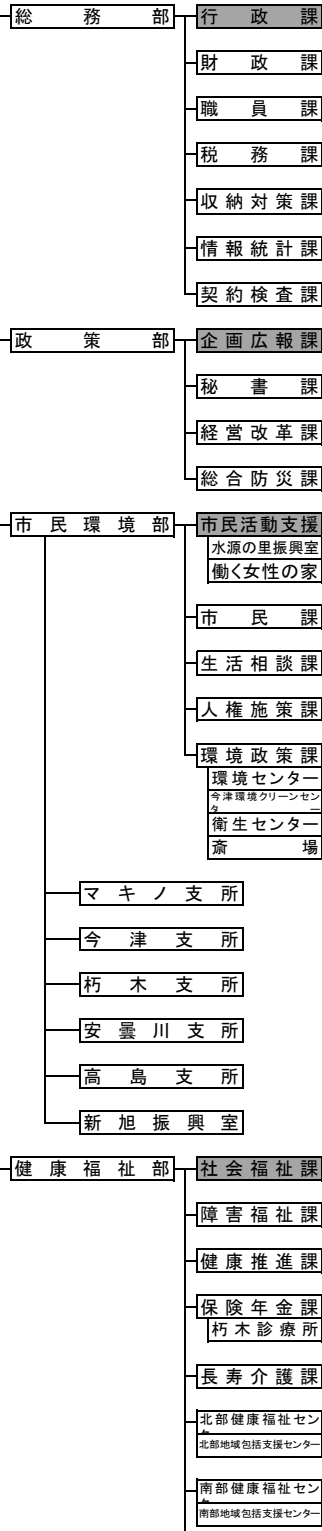
議会

議長—議会事務局—議事課

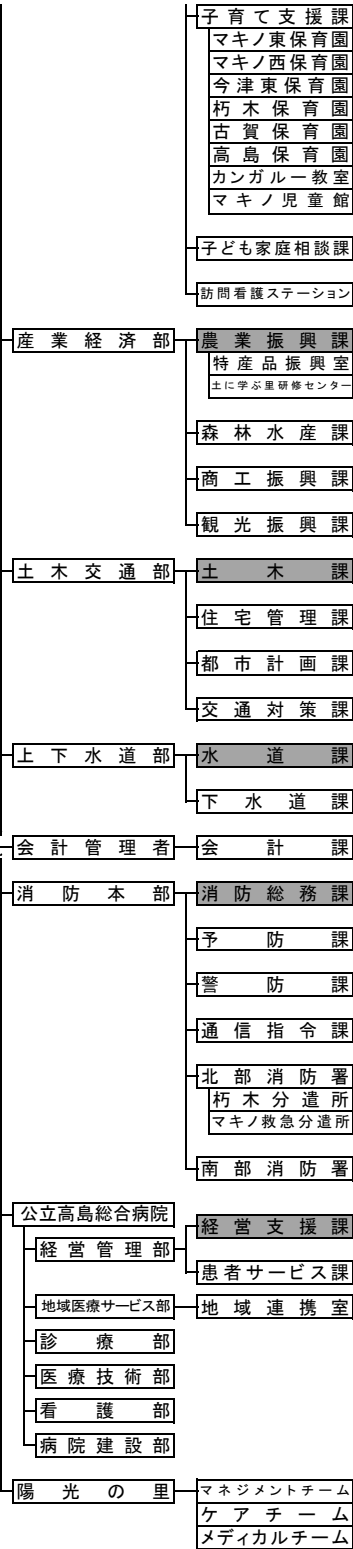
市長部局

市長

副市長

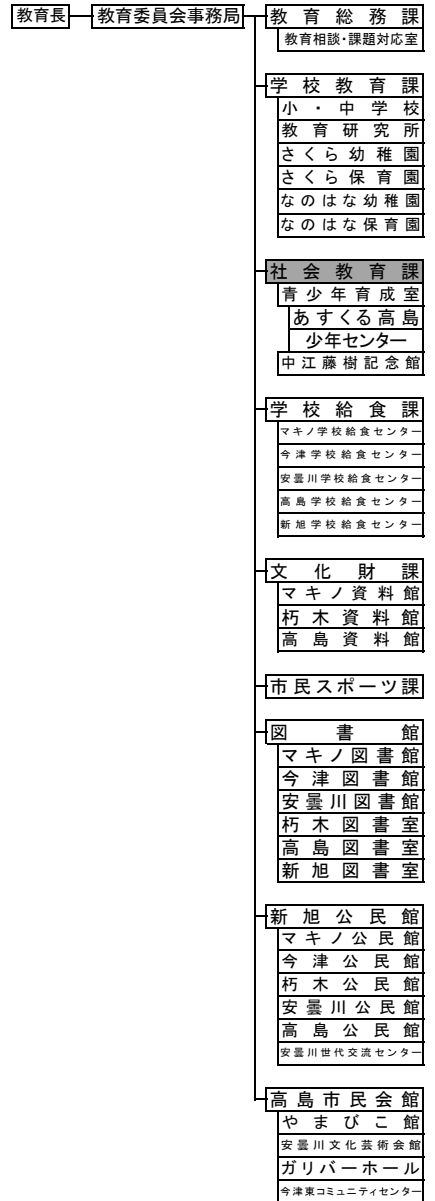


部内幹事課



高島市役所本庁舎 (旧新旭町役場)	別館、安曇川支所以外の部 課と行政委員会
市役所別館(旧郡民会)	土木交通部、上下水道部
市役所安曇川支所	教育委員会

教育委員会



選挙管理委員会 事務局

監査委員 事務局

公平委員会 事務局

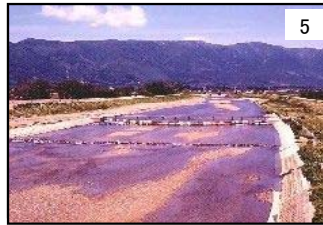
農業委員会 事務局

固定資産評価審査委員会 事務局

高島の「百選」

	百 選 名	名 称	場 所	選定年月	選 定 機 関
1	日本の白砂青松100選	湖西の松林	今津町～マキノ町	昭和62年 1月	(社)日本の松の緑を守る会
2	日本のさくら名所100選	海津大崎の桜	マキノ町	平成 2年 3月	(財)日本さくらの会
3	日本の滝100選	ハツ淵の滝	(旧高島町)鹿ヶ瀬	平成 2年 4月	日本の滝選考会
4	新・日本街路樹100景	メタセコイア並木	マキノ町	平成 6年11月	読売新聞社
5	水の郷百選	マキノ町全域	マキノ町	平成 7年 3月	国土交通省
6	日本の渚100選	萩の浜	(旧高島町) 永田～勝野	平成 8年	日本の渚百選中央委員会
7	日本の棚田百選	畑の棚田	(旧高島町)畑	平成11年 7月	日本の棚田百選選定委員会・ 農林水産省
8	日本花の百名山	赤坂山	マキノ町	平成14年 3月	(株)山と渓谷社による決定版 「花の百名山」登山ガイド
9	未来に残したい漁業漁村の歴史文化財百選	琵琶湖の伝統的漁法 ～築(やな)～	安曇川町北船木	平成18年	水産庁
10	快水浴場百選	マキノサニービーチ	マキノ町	平成18年 5月	環境省
11	平成の名水百選	針江の生水	新旭町針江	平成20年 6月	環境省
12	日本の紅葉百選	生杉のブナ原生林	朽木生杉	不詳	不詳
13	ため池百選	淡海湖	今津町深清水	平成23年3月	農林水産省

日本花の百名山の「赤坂山」については、(株)山と渓谷社による「決定版花の百名山登山ガイド」によるものであり、厳密には田中澄江 著の「花の百名山」とはいいがたいものがある。(山と渓谷社に確認済)



【資料 観光振興課】